緑丘トピックス

平成 29 年度
第７号
3月23日（金）発行

Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校　TEL/FAX 0142-24-3021

春がきた

校長　吉瀬　献策

この原稿が皆様のお手元に届く頃、学校は、新年度に向けての準備に慌ただしい日々を送っています２週間ほどもすれば、入学式を迎えますし、光陰矢のごとしといいますが、そのことを一番実感する時期です。

さて、こうした次年度への取組も、年度を振り返った反省による計画に基づきます。学校評価アンケートで回答していただいた評価結果を分析し次年度計画へも反映させました。この２年間を振り返りますと、主に、複数担任制の運用、強歩大会の復活、ＰＴＡ組織の改編、保護者や地域との連係の強化、開かれた学校づくり、宿泊研修の見直し、文部科学省教育課程研究指定事業の成果還元等を推進してきました。また、このことに係る情報発信も進めてきましたがいかがだったでしょうか。

学校改善の取組の中で、教育関係者以外には耳馴染みのない言葉ですが、カリキュラム・マネジメントの取組も推進しました。平たく言うと、自校で育てたい生徒像を明確にして共有し、その実現へ向けて全教職員が一丸となって取り組み、その結果を評価・検証し、さらに、改善に向けた取組を推進していくというＰＤＣＡサイクルによる教育活動の在り方をいいます。年度末に差し掛かる時期でしたが、カリキュラム・マネジメント委員会を立ち上げ、メンバーの先生方には精力的に活動していただきました。校内研修を実施しワークショップを開き、改めて、緑丘高校で育成したい生徒像について全教員で考えました。このことにより、学校教育目標を見直したほか、「総合的な学習の時間」についても新たな取組に着手しました。本校で育てたい生徒像は、校訓を踏まえ、以下のように設定しました。

◇スローガン　チーム緑校
　　－生徒が所属する喜びを感じる学校づくり－
◇教育目標　　より高みを目指して
　　１　創造する力を伸ばし、未来を切り拓く主体性を育てる
　　２　礼節を重んじ、他を認め思いやる心を育てる
　　３　剛健な心身を培い、困難に立ち向かう気力・体力を育てる

折に触れて申してきましたが、教育に学校単独で取組む時代ではなくなりました。日々の具体的な教育実践をより実りのあるものにするためには、保護者や地域の方々、関係機関の支援は不可欠です。我々も、教育活動の情報発信に努めますが、保護者の皆様も学校に関心をもっていただき、行事やPTA活動に積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。子どもの成長をみんなで楽しみませんか。

卒業式で卒業生一人一人に証書を手交しながら思いました。この子たちでほんとうに良かった。保護者のみなさんありがとう。先生方お疲れ様。

合格発表の様子をみて胸が熱くなりました。この学校でほんとうに良かったと思えるような高校生活にするから任せて。

チーム緑校の新たな船出の弥生三月です。

晴れ晴れと卒業式 160名が巣立ち

３月１日（木）、本校体育館にて「卒業証書授与式」が挙行され、第３３期１６０名の卒業生が次なるステージへと巣立っていきました。多くのご来賓や保護者の方々が見守る中、吉瀬校長から一人一人に卒業証書が手渡されると、卒業生たちは引き締まった表情でその重みをかみしめていました。校長式辞では、『想像力』の大切さが述べられ、本校で学び、培った経験を基に、たとえ困難に出会っても、ひるむことなくしなやかに前進し続けて欲しいと激励しました。また在校生に対しても、「創造」「礼節」「剛健」の校訓のもと、未来を切り開く主体性と、他を思いやり自らを知ること、苦しいこととや困難にも向き合って前を向いて進んでいくという生きる姿勢についてお話がありました。

卒業生を代表して佐伯　晴君が述べた答辞では、３年間の思い出が振り返られるとともに、家族や友人・先生方への感謝への言葉が綴られ、緑丘高校で学んで培ったことを生かして、どんな困難があってもあきらめることなく未来へ邁進していきたいと、強い決意が語られました。最後に学校祭「合唱コンクール」の課題曲である『ふるさと』を全校生徒で合唱。式後には、３年間の思い出を編集した映像がステージの奥に映し出され、生徒・保護者から大きな拍手が沸き上がり、厳粛な中にも心温まる卒業式となりました。１６０名の卒業生の皆さん、伊達緑丘高校で過ごした思い出を宝に、今後も益々活躍してくれることを願っています。

〈平成29年度第3学年（第33期生）の進路合格状況　※3月 22 日現在〉

4年制大学・短期大学	専門学校	就　　職
国公立大 …　７名 私 立 大 … ７２名 短　　大 … １３名	看護専門学校 … ２３名 その他専門　… ３６名	民　間 … ２１名 公務員 … １９名

粘り強く努力し合格を勝ち取った皆さん、おめでとうございます！

PTA・体文合同役員会 新年度へ向けて始動!!

３月９日（金）18:30 から伊達市ホテルローヤルにおいて、年度末のＰＴＡ役員会が開かれました。

今年度のＰＴＡ活動としては、まず、６月の強歩大会の復活に伴い、多数の保護者の方の協力を賜り、無事成功裏に終了できました。

また学校祭では、恒例の「ＰＴＡバザー」を ３ 学年と合同出店し、２日間開催したほか、11 月の研修旅行では函館を訪問し、北海道新幹線に乗車し、参加された方々に好評いただきました。

今後とも『チーム緑高』をスローガンに、学校・家庭がともに手を携え生徒のために取り組んでいく、魅力ある学校づくり・ＰＴＡ活動をめざしていきたいと思いますので、是非ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご案内　★ぜひご参加ください★

平成30年度「PTA総会」を4月21日（土）に授業参観・保護者向け進路講演会・学年懇談と合わせて実施します。

よい撮り緑（どみどり）

Midorigaoka
2017年2月～3月

◆◇◆ 2月22日(日) 伊達市芸術文化・青少年・スポーツ関係 合同表彰式

本校からは陸上部　渡辺希莉さん、サッカー部　丹尾太郎君、
美術部　大和田夏菜さん、の３名が伊達市より表彰されました。

3月9日(金)～20日(火) 普通救命講習(1・2年) ◆◇

１・２年全生徒を対象に、４日間に分けて行われました。
伊達消防署の救急救命士の方のご指導のもと、ＡＥＤを用いた
心肺蘇生法や心臓マッサージなどの講習を受けました。

◇◆◇◆◇◆ 3月14日(水) 学校関係者評価会議

※写真は昨年度のもの

学校関係者・本校職員による評価会議を行いました。
今年度の教育活動における成果と課題について協議しました。

3月16日(金) 入学者選抜　合格発表 ◆◇◆◇◆◇

発表時刻の 10:00 前には大勢の人が。
合格者の受験番号が掲示されると歓声が上がっていました。

ホームページでも学校生活を紹介しています！

行事をはじめ、日々の生活や配付物（通信等）を日々公開・更新しております⇒ http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp

4月の行事予定表

始業式・着任式・入学式 ⇒ 4月　9日(月)
交通安全講話(全学年) ⇒ 4月18日(水)
PTA総会等に伴う登校日 ⇒ 4月21日(土)

日	曜	行　事　予　定
1	日	年度始休業(～4月8日)
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	年度始め職員会議
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	【前期開始日】 始業式・着任式、平成30年度入学式
10	火	対面式、スタディーサポート(1年)
11	水	分掌・生徒会ガイダンス(1年)
12	木	身体測定　自転車点検(3年)
13	金	写真撮影　自転車点検(2年)
14	土	
15	日	
16	月	自転車点検(1年)
17	火	胸部X線・心臓検査(1年)
18	水	交通安全講話　尿検査(1次)
19	木	内科検診(1年，2年 AB)
20	金	職員会議　部集会　前期役員認証式　歯科検診　※5分短縮授業
21	土	【生徒登校日】PTA総会、授業参観、保護者向け進路講演会、学年懇談
22	日	
23	月	宿泊研修結団式(1年生4時間授業)
24	火	宿泊研修(1年)　内科検診(3年，2年 CD)
25	水	↓
26	木	
27	金	振替休業(4/21 分)
28	土	
29	日	昭和の日
30	月	振替休日

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承ねがいます。

火山を学ぶ　ジオパーク ～加賀谷さん講演～

３月１４日（水）本校体育館を会場に、国の「教育課程研究指定校事業」にともなう研究実践として、「洞爺湖有珠山ジオパークを題材とした教科･科目相互の連携を図った学習」が行われ、本校２年生全員が参加しました。地理歴史・理科が連携した学習活動の実践ということで、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会事務局の加賀谷にれさんを講師にお招きしての講演のあと、生徒たちは２つのテーマについてグループ協議や発表といったワークショップに取り組みました。

講演では火山の怖さと恩恵についてお話を聞いた後、ワークショップでは火山が近くにあることのメリット・デメリット、有珠山とどう向き合うか、などの協議をしました。前回の噴火から１８年、活動を続ける有珠山とどうつき合っていくのか、生徒たちは真剣に考えていました。